



社会福祉法人

香川いのちの電話

通信

第59号

相談電話

みみをかたむけなやみせロ
087-833-7830

FAX相談

むつんでいちばんしみじみ
087-861-4343
(24時間年中無休)

観音寺市大野原町 法泉寺 写真提供 宮武 則明

「香川いのちの電話」の後援会会員になっていただけませんか

香川いのちの電話後援会長 富岡 幸生

2011年3月11日、私たちは、想像を絶するような震災を経験しました。何でもが保障され、与えられることが当然であると思い込んでいた多くの日本人は、改めて、命や人生が置かれている現実気付かされたのではないかと思います。震災の時に私たちは、それぞれの立場で協力をしました。現地の人たちによる互助、離れた場所から現地へ行つての援助、物資やお金を寄付すること、心でエールを送ること、世界中の人たちが関わりました。

災害の際に大切なことは、第一に「自助」次に「共助」そして最後が「公助」と言われます。災害に限らず色々な問題に直面した時、私たちはまず自分で何とかしようと努力しますが、自分一人では処理できないことも多くあります。その際には、周りにいる人たちが色々な協力をすることで私たちの生活が成り立っていくのです。

香川いのちの電話の相談員の方たちは、自分の時間を使い、学んで得た知識や技術を生かしながら、電話をかけてくる人たちに対応しています。いのちの電話という組織を運営するためには、いろいろな人たちが関わっています。また、多くの方たちが後援会員として香川いのちの電話を支えて下さっています。けれども、香川いのちの電話はもっともっと多くの後援会員を必要としています。皆様方には、ぜひ後援会にご入会下さり、周りの方々にもぜひ御入会をおすすめいただきますようお願い致します。



私は保育所に勤務している者です。

“いのちの電話”のことを知ったのは、父に送られて来る香川いのちの電話の機関紙でした。

当時、仕事上様々な表現から、子どもの動きを理解していくこと、さらに保護者の立場にたつて保育を進めていくことのむつかしさを感じながらも、私には話をきいてもらえる仲間がいました。でも、まわりの人に心を開いて話ができない人、誰に相談したらいいか悩んでいる人を24時間体制で孤独な気持ちを支えている“いのちの電話”の活動をとてもスバラシイことだと感じ、その活動を私なりに「寄附」という形で応援させてもらっています。

このような形で協力できる人が一人でも多く増え、“いのちの電話”が途絶えることのないようにと願っています。みなさんも私と一緒に応援しませんか。(後援会 新土 百百子)

卒寿！アッラーの神の思召しかか言う他ない。職場研修でカウンセリングの講義を受け、いつか活用を、と思っていたら“いのちの電話”の開設を知り、年齢制限ギリギリで受講。以来延20年……それは仲間の絆というしかない。今は娘の姑(認知症91才)と子がなく妻に先立たれた家内の兄(認知症95才)の二人が入所している施設に毎日通い散歩の御付き合いをするのが仕事。

ところが昨年家内が突然脳梗塞を発症。慣れぬ家事と3人の老人の面倒見が仕事になっている。その毎日為すべきことがある……というのが元気のモチかもしれない。

家内は当初ダメと言われたのが、私の献身的な?!看護でボツボツ炊事に手を出す程に回復。ヒトサマは可愛い犬の散歩だが、私は結婚60年の老妻の手を引いての歩行訓練！大正11年11月11日生まれ。もうすぐ満89歳になる。(相談員OB O・T)

香川いのちの電話の活動を、支え続けていらっしゃる皆さんに、心から敬意を表します。

相談員を卒業(?)してかなりの月日が経っていますが、電話相談員として“耳を傾けて聴く”ことの難しかったこと……身にしみています。研修期間、スタートしてからの班研修、特別研修、勉強してもしても、いざ電話をとると直面する、かけ手の現実と自分の限界。

自分としては思ったより長く続けられたのは、研修仲間の皆さんの温かい励ましと、ほんの時折の楽しい思い出深いレクリエーションでの気持ちのつながりあいがあったからだと思っています。

地味で目立たない、でも本当に必要とされている相談活動です。資金難も人材難も乗り越えて是非頑張ってください。後援会員として、微力ですが応援を続けます。(相談員OB K・Y)

先日テレビで皇后様をお迎えして「いのちの電話開局40年記念式典」が行われているのを見ました。香川いのちの電話では第30期生の養成講座がおこなわれていると聞きました。

今日も、今も孤独の中において、やっとの思いでかけて来た電話に耳を傾け、支え続けておられる相談員の皆様には敬意を表します。私も、ふと新聞で見た「いのちの電話養成講座」に申込み、何か自分を変える手がかりをみつけないかと思って受講しました。隣人として寄り添う、傾聴、共感……沢山のことを学び、沢山の人の仲間に出会って少しずつ目の前があかるくなりました。私の本質は変わっていないかもしれないけれど、気持ちに少しずつゆとりが出来てくる講座でした。事務局の統計にかかわり、いろいろお手伝いをし、一生懸命でした。そしてほんとに大切な友人にも出会い、私は世界が広がり成長できたと思います。主人と私の母の介護で時間を取られ、かかわることか難しくなりました。その母達も今は亡くなりましたが、いつも私のどこかでいのちの電話のこと、気になっています。毎年公開講座には出席するのを楽しみにしています。これからも微力ですが、できる間エールを送りたいと思います。(後援会 三好 美也子)

いのちを支えて方々の

今回、いのちの電話活動への理
いただきたく【香川いのちの電
発行することになりました。
かつて香川いのちの電話で相
香川いのちの電話に当初より
熱い思いを寄せていただきま
その熱い思いをしっかりと受け
充実させていくエネルギーと



香川いのちの電話公開講座

「笑顔がクスリ」

講師 昇 幹夫氏 (のぼり みきお)

日時 2012年2月18日(土) 13:30～

場所 サンポートホール高松 3階大ホール

参加費 1000円 (当日券 1100円)

※手話・要約筆記が
つきます

●講師プロフィール
昇 幹夫氏
(のぼり みきお)
日本笑い学会副会長
産婦人科医



香川いのちの電話協会 第31期電話相談員を 募集しています

いのちを大切に生きるためのこころの支え手として、
あなたもこのボランティア活動に参加しませんか。

●開講 2012年4月～

【お問合せ】
香川いのちの電話事務局 087-861-7065

■電話相談養成講座受講状況

- ・第28期電話相談養成講座受講者数……62人
- ・第29期電話相談養成講座受講者数……42人
- ・第30期電話相談養成講座受講者数……58人

の電話

下さった お便り

解を深め、より一層のご支援を
電話通信ご支援特別号)を

員をされた方と、
支援いただいている方々から
た。
めて、大切な活動を
せていただきます。

香 川いのちの電話は私のボランティアの原点です。「傾聴する」ということがどんなに奥深いことかも知らず、いのちの電話に参加!! 1期生は開局に向けて講義を受けながら事務局の仕事、それにまつわる人間関係……等、みんなでよく乗り切れたと思います。そしてあれから27年休むことなく活動し続けている……嬉しい限りです。

「傾聴する」全てが自分に返ってくる、その奥深さと社会的意義に魅せられて、今も細々と在宅での傾聴ボランティアをしています。

関わってられる皆様のご苦勞を思いつつ、香川いのちの電話がこれからもずうっと活動されんことを願ってやみません。(後援会 三沢 直子)

「電話の向うの声に寄り添い共感する」

この当り前のことが出来ず苦しんだ初めの頃を思い出しています。そして今も友達が続けて担当なさっている事を知り万感の思いで頭が下がります。

今も「いのちの電話」のことを思い出します。独特な不条理な言い分を、反発する事なく聞いておられた相談員の方々を思い出します。多くの方が電話をかけて聴いて貰う事で癒されていたのだと思っています。

私は足を悪くして休務のつもりが長引きました。その後は「観音寺の独居老人お元気コール」にいました。今は最晩年を生きています。いい方々に出逢った高松での年月を大切に思っています。

どうか皆様御こころざしをつなげて下さい。心をこめて応援しています。(相談員OB Y・Y)

いのちの電話の養成講座で勉強させて頂き、ほとんど電話相談をしないでやめてしまいましたが、学んだことはよかったです。

相手の方の話すことを聴くことはなかなか難しく、すぐ口を挟んで、「しまった」と反省することが多い毎日です。落ち込んでも「また今度そうしよう」と自分を甘やかして、身に付きませんでした。が、「いのちの電話」という文字を見ると誇らしく嬉しくなります。自分は継続しなかったけれども、まだ続けている方と自分も同じ所で勉強したという気持ちが、何となく嬉しいです。時々同期の方とお会いすると、「みんなどうしてるかな、お会いしたいね」と話します。

電話を受けてうっかりすると早口で話すので、「言葉はゆっくり」を思い出し少しでも身に付くようにしています。効果のほどはわかりませんが……。

講演会等できるだけ参加させて頂きます。どうぞいつまでも続けてくださるようお願いいたします。微力ですが、これからも後援会会員として応援させていただきます。(後援会 玉川 蓮恵)

「香川いのちの電話」開局。第1期生として参加させていただきました。

ボランティアとして電話を取る。「ひとりで悩まないで…いっしょに考えましょう」電話の向うからの顔の見えない人達からの声に全神経を集中させて傾聴する。とてつもなく責任の重さがずっしり。でも今やらなければ…の思いだけで電話相談のための養成講座の受講生となりました。ボランティアをするための多額の受講料を払う。すごいことでした。

養成講座を受ける都度、本当に私はこの心の痛み、苦しさ等々聴くことができるのだろうか、その思いを持ちながら、真に私自身のための受講と気付かされました。

仲間を支えられ見守られる中、電話室に初めて入った時の事を今も覚えています。緊張そのものでした。

今、28年という月日が経ち、私は途中リタイヤ。

現在「いのちの電話」は他専門機関が次々と開設され、本当に行き場のない、心の置き場のない人達からの相談、心深く傷ついた人達の相談となっていることでしょうね。本当にありがとうございます。

社会自体が低迷している今、支援員の確保が難しくなっている事、少しでも後援会員の一人として支え合いたいと願っています。

相談員の皆様、事務局員の方々、感謝です。今後共よろしく願います。(相談員OB A・K)

「いのちの電話」はあなたのご支援を必要としています

いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。眠らぬダイヤルの施設維持費、相談員研修費、広報活動など、年間1千万円の資金が必要となってきます。ボランティア活動である「いのちの電話」は、それを支える財政的基盤は大半が市民の、あるいは企業や諸団体からの寄付で支えられています。ひとりでも多くの方に資金ボランティアとして関わってくださいますよう、お願い申し上げます。

【後援会費】

- ・ 個人会費……年頭①2万円 ②1万円 ③5千円 ④2千円
- ・ 団体会員……年頭①10万円 ②5万円 ③3万円 ④1万円

【寄付金】 金額はご随意です。クリスマス、歳末など折にふれてご協力下さい。

〈振込先〉

社会福祉法人香川いのちの電話協会
理事長 小島 克己

《お振込みは下記のいずれかをご利用下さい》

- ・ 香川銀行本店(普) 1389129
- ・ 高松信用金庫本店営業部(普) 4821464
- ・ 百十四銀行本店(普) 1473589
- ・ 郵便振替1600-5-9348

支援者を訪ねて

12

医療法人社団
宮武耳鼻咽喉科クリニック
理事長 宮武 宏 氏



—ご支援をいただき有難うございます。

いのちの電話については前からご存じでしたか？

香川いのちの電話協会主催の公開講座で柳田邦夫さんの講演を聞いてからです。柳田邦夫さんには前から関心を持っていました。柳田邦夫さんはノンフィクション作家ですが、息子さんのこともあつていのちに関心を持っておられ、惹かれるものがあります。一息子さんをああいふかたちで亡くされたこともあつて、シビアな発言をされてますね。

自殺者が3万人を超え、社会的に大きな問題だと思えます。

—交通事故に比べれば、断然多いのに、国は長い間タッチしてこなかったのですがやっと動きだして自殺対策基本法を作りました。いのちの電話では、全国共通番号で毎月10日をフリーダイヤルにして、国の援助を受け、24時間体制、50センターで待機して対応しております。自殺予防いのちの電話といってフリーダイヤルになっています。

自殺の原因も仕事の問題、家族問題、サラ金、ほかにも生活保護や孤独死など様々です。また、うつ病で自殺する人もいます。それではいかんと私は勉強会をはじめました。勉強会で使った本では、「個人がうつ病になるのは心が弱いからだというのではなく、神経の伝達が切れたり、ドーパミンの過不足から起きるのが大きな原因だ」とクリアーに書いてありました。統合失調症、仮面うつ病も増えています。精神科に行くのをためらう人も多そうですね。もつと理解されるといいですね。

私の所では開業してからずっと待合室などに絵本や本を並べて、母親に絵本の読み聞かせを促しております。見る機会、見せる機会の少ない本を探し出しては、子どもたちや母親に本に触れる場を提供しています。

昨年、県のミュージアムで高橋まゆみの手作り人形展がありました。母子、子ども、夫婦などの姿を人形で再現したものを患者さんたちに是非見てもらいたくて写真集を手に入れて待合室に出しておきました。

—病気の治療だけでなく、もつと幅広いいのちの大切さに触れる場を提供されているんですね。その点でわたしたちの活動に連なるものがありますね。

最後に、いのちの電話について一言ございましたら。

自殺するのは話し相手がいないから。聞いてくれる人がいないから。というのが大きな要因だと思っています。

—有難うございました。これからも、よろしくご支援ください。

(広報担当：田中・寺岡)

13

国際ソロプチミスト・ミドル香川
会長 藤川 澄子 氏



—ご寄付いただき有難うございます。

会長にはいつなられたのですか。

会長は今期2011年7月から2012年6月まで1年間務めさせて頂くことになりました。

—国際ソロプチミストのことを教えてください。

国際ソロプチミストは国際親善と理解および友情を通じて、女性の地位向上、高い倫理基準、万人の人権、平等、開発、平和を求め努力することを目的としています。

国際ソロプチミストの歴史は1921年(大正10年)にカリフォルニア州オークランドで誕生しました。実業界で活躍する女性、管理職、専門職に就いている女性の世界組織であり、ソロプチミストの原点は奉仕活動で、地域社会と世界中で女性と女性の生活を向上させる多種多様な活動をしています。

—すごいですね。世界的な組織なんですか。

世界147ヶ国、5058クラブ、133830名の会員からなっています。

—日本ではどのような状況なんですか

日本には5リジョン(地域)があり、520クラブ、12524名の会員からなっています。私は現在、日本西リジョン(中国四国)の会員として香川県に、7クラブのうちの国際ソロプチミスト・ミド

ル香川の会員として、2010年2月に認証、10周年を迎えることができました。

—日本は何年ごろからなんですか。

日本では戦後いろいろな紆余曲折を経て1960年7月2日東京ソロプチミストクラブが認証されました。10年後の1970年(昭和45年)には5クラブ(東京・高松・京都・神戸・大阪)をもって日本ソロプチミストクラブが結成され、1976年7月、日本リジョンが誕生しました。

—ソロプチミストとはどういう意味なのでしょう。

“sororソロ(姉妹)”と“optimaオプティマ(最良)”という2つのラテン語から作られたもので、「女性にとって最良のもの」という意味です。

—寄付をするきっかけはということだったのですか。

いのちの電話から出されている「香川いのちの電話通信」とかホームページを見えています。その中の統計相談内容を見ると女性からの悩み相談が多いこともわかりました。国際ソロプチミストの原点と香川いのちの電話の活動目的が同じなのに感銘して、協力させてもらうことになりました。

—それは有難いことです。昨今の経済状況で後援会会員も減り、企業からも寄付金が少なくなり、ここ2～3年厳しい状況です。いのちの電話は多くの皆さんの善意により後援会費や寄付金によって支えられています。これからもご支援宜しく願い申し上げます。

出来る範囲で協力していきたいと思っております。

—ありがとうございます。

(広報担当：田中・松尾)

宮武則明プロフィール (2006.6より写真提供者)

高松市円座町在住。元讃岐写真作家の会所属。現在「ギャラリーMON」(朝日町)において定期的に作品展を行っている。写真集「讃岐の町並」讃岐写真作家の会著ほか9冊発刊。「香川の歳時記365日」四国新聞に写真提供。現在も活躍中。

発行所 社会福祉法人 香川いのちの電話協会
〒760-8691 高松市中央郵便局 私書箱 152 号
事務局 電話 (087) 861-7065
発行人 小島 克己 編集 広報委員会